

公益財団法人横須賀芸術文化財団
平成 26 年度第 2 回理事会
議 事 録

- 1 開催日時** 平成 26 年 6 月 16 日（月）10 時 30 分から 11 時 40 分まで
- 2 開催場所** 横須賀市産業交流プラザ 特別会議室
- 3 出席者** 理事総数 6 名
出席理事 5 名（代表理事・理事長を含む。）
小沢一彦（理事長）、木村忠昭（副理事長）、
原田恵次（常務理事）、齋藤道子、渡辺晴夫
監事総数 2 名
出席監事 1 名
伊藤智則

4 議 長 小沢一彦（代表理事・理事長）

5 決議及び承認事項

- 議案第 3 号 平成 25 年度事業報告及び決算（案）について
議案第 4 号 平成 26 年度補正予算について
議案第 5 号 定時評議員会の招集について

6 報告事項

- ・平成 26 年 3 月 1 日以降の職務の執行状況について
- ・「第 5 回野島稔・よこすかピアノコンクール」の開催結果について

7 議事の経過概要及びその結果

定刻に小沢理事長が議長席に着き、天沼事業部長が開会を宣言。

定款第 33 条第 1 項の規定に基づき、小沢理事長を議長に選出。

小沢理事長が、定款第 34 条に規定する定足数を満たしていることを確認し、本理事会が有効に成立した旨を宣言。

併せて、定款第 37 条第 2 項に基づき、小沢理事長、木村副理事長及び伊藤監事を議事録署名人に指名した。

小沢理事長が各議案を上程し、事務局に説明を指示し、議案の審議に入った。

（1）議案第 3 号 平成 25 年度事業報告及び決算（案）について

大倉事業課長（事業報告）及び柳田管理課長（決算）が詳細を説明。

説明によると、平成 25 年度は、横須賀芸術劇場の第 2 期指定管理期間の最終年に当たる。自主公演事業については、多様なジャンルの公演を鑑賞できる環境づくりに努めるとともに、積極的に販路拡大に取り組むなどして、市民に多くの舞台芸術の鑑賞機会を提供した。また、平成 26 年 2 月から、約 10 ヶ月にわたる開館 20 周年記念事業を開始した。育成事業については、若手演奏家の育成や、劇場合唱団の活動などを通して市民が主体的に文化活動に参加できる環境を提供するなど、文化振興に貢献した。貸館事業については、情報提供及び営業活動の強化により利用促進を図り、利用

者のニーズの把握、ホスピタリティの向上に取り組み、顧客満足度の向上及び充実したサービスの提供に努めた。その他事業全般において、横須賀市の文化施策との連携を図り、常に地域に親しまれる劇場として、地域の活性化及び芸術文化の振興に寄与した。

決算額については、適正な公益目的事業比率を確保し、昨年度と同様に良好な収支結果に終わり、今後予定する周年記念事業等に向けた財源確保に努めることができた。

次に、小沢理事長の求めに応じ監査報告があり、理事の職務の執行について監査した結果、事業報告は法令及び定款に従い法人の状況を正しく示していること、理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められないこと、内部管理体制の整備に関する理事会決議及びその体制下の理事の職務の執行が相当であること、計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は法人の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示していることが報告された。

本議案に関連し、次の質疑応答があった。

- ・小沢理事長：伊藤監事は就任後初めて業務監査を実施されたが、どのような印象を持たれたか。
- ・伊藤監事：事業が多岐に渡っており、充実していると感じた。公演情報も頻繁に目にしており、広報活動にも力を入れているという印象だ。
- ・小沢理事長：その効果もあり、京急沿線の横浜方面からの来場者も多い。
- ・天沼業務部長：来場者の5割は市内からで、横浜からは2割、続いて逗子、鎌倉が続いている。
- ・原田常務理事：小劇場カーペット張替え工事を行い、横須賀市に完成物件を寄附した。周年記念事業が本格展開する前に工事を終えることができ、大・小劇場ともにお客様をお迎えする環境が整備された。

以上、小沢理事長が諮った結果、全員一致をもって原案のとおり承認された。

(2) 議案第4号 平成26年度補正予算について

柳田管理課長が詳細を説明。

主催公演1公演において、補助金を得ることが確定した。また、平成25年度決算確定前に平成26年度予算の承認を受けたため、決算案上の次期繰越金と予算上の前期繰越金の一致を図りたいが、前期繰越金の増額補正分については、今後の芸術普及事業の準備資金として特定資産へ積み増すほか、施設の老朽化に伴う追加の緊急修繕に備えるための予備費に充てることとするとの内容であった。

- ・小沢理事長：補助金は、特定資産への積増しを予定しているのか。
- ・原田常務理事：公演料及び広報費の財源に充て、芸術普及事業の充実を図りたいと考えている。

以上、小沢理事長が諮った結果、全員一致をもって原案のとおり承認された。

(3) 議案第5号 定時評議員会の招集について

柳田管理課長が詳細を説明。

- ・用件 平成26年度第2回評議員会
- ・日時 平成26年6月18日(水)13時30分から
- ・場所 横須賀市産業交流プラザ 第1会議室
- ・目的である事項
 - (1) 議案審議
 - ・平成25年度事業報告及び決算について
 - (2) その他報告事項

理事から質疑がなされなかったことから、小沢理事長が諮った結果、出席理事全員異議なくこれを可決した。

(4) 報告事項

・平成26年3月1日以降の職務の執行状況について

大倉事業課長が報告。

横須賀市関係として、芸術劇場指定管理業務に係る月次及び年次報告を行ったこと、神奈川県公益認定等審議会事務局による立入検査が実施されたことなどが報告された。

・「第5回野島稔・よこすかピアノコンクール」の開催結果について

大倉事業課長が報告。

平成26年4月23日から29日までのうち、6日間で同コンクールを開催した。

81名が応募し、67名が参加した。本選には8名が進出し、第1位に1名、第2位に2名を決定した。第1位の副賞として、大劇場における優勝者記念リサイタルを開催する予定である。野島審査委員長からは、テープ審査の段階から非常にレベルが高く、過去5回で最も甲乙付け難い内容であった旨の講評を得ている。初回開催から10年が経ち、本コンクールが全国的にもレベルの高いコンクールであると周知された結果であり、観覧者が延べ1,020名に及ぶなど、若い演奏家を支援するという輪が着実に広がっていると感じられるコンクールであった。

本報告内容に関連し、次の質疑応答があった。

- ・天沼業務部長：出場者によって、アプローチの仕方や選曲が異なる。個性が際立つ内容のコンクールとなった。
- ・小沢理事長：従来の第1位の副賞は、オーケストラと共演する公演への出演であった。どのような理由から変更するのか。
- ・天沼業務部長：自らのレパートリーの中からプログラムを用意することも、本人が更に成長する糧になると考えた。野島審査委員長の意向に沿ったものでもある。

以上をもって、議事全部の審議及び報告が終了したので、11時40分、議長が閉会を宣し解散した。

上記議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、出席した代表理事及び監事が記名押印する。

平成 26 年 6 月 27 日

公益財団法人横須賀芸術文化財団

議 長
代表理事（理事長）

小 沢 一 彦

(代表者印)



代表理事（副理事長）

木 村 忠 昭

印



監 事

伊 藤 智 則

印

